

## 【文化祭を終えて】

文化祭で3年間の集大成であるファッションショーを無事に終えることができて、安心感と寂しさで胸がいっぱいです。

企画をやることになって、自分にはそんな重役は合わないとすごく不安でした。それでも、こうしてショーを成功させることができたのはクラスの皆、1年生、普通科や他校の友達、先生方、家族、生徒会の協力、支えがあったからこそだったと強く思います。

3年というたくさんの時間をかけて創り上げてきた50分間のファッションショーは本当にあつという間に終わってしまっていて、5分くらいしかやっていないのではないかと錯覚してしまうくらいでした。なので正直まだショーが終わった、憧れていたあのステージを自分が歩いたという実感がありません。

中学3年生のとき、初めて佐倉東のファッションショーを見て高校生でこんなにレベルの高いことができるのかと圧倒され入学し、1年生の文化祭では照明係としてショーに関わり、3年生への尊敬や憧れが強く、自分も先輩のような素敵な3年生になりたいと思いました。2年生の文化祭では商品販売をしながら、自分たちのファッションショーまで1年もないのか、と不安になりました。そして、3年生になってからは想像以上の忙しさ、普通科の人たちが遊んでいる中、家に帰って課題と向き合い、テーマのリーダーや企画を任せてもらったことのプレッシャーや、縫っても縫っても終わりの見えない課題で眠れないこと、辛いことも苦しいことも、後悔することだってたくさんで、本当に嫌になることも学校を辞めたいなと思うこともよくありました。ウォーキング練習でもなかなか全員のタイミングが合わず、ピリピリした雰囲気になったり、お互いの不満がぶつかり合ったり、それでも、無事に乗り越えた38人全員でショーに出られ、大きなハプニングも無く、たくさんの人から褒めてもらえたことが本当にうれしく、心の底から幸せでした。

今まであまり話さなかったクラスメイトとも仲良くなれたこと、製作中や練習中、構成や照明の話し合い、すべてが濃くて鮮明に思い出せる、一生大切にしたい思い出になりました。

